

Stimulus for Brain Activation

脳科学の世界での一般論

脳科学者によると、刺激を肌表面に与えると肌表面に散在している感覚受容器（感覚点）によって感じ取られ、感覚受容器が感じた刺激を電気信号に変えて知覚神経→脊髄神経節→中枢である間脳視床下部（自律神経系や内分泌系の中枢。全身からの臭覚以外の全ての感覚を大脳へ伝える中継点）→大脳皮質に作用するそうです。

このメカニズムを理解している脳科学者は「こうすると・こういう刺激」を肌表面に与えると、脳は気持ちよさを感じ、気持ちよさを感じた脳は更なる効果を生み出すということをよく知っています。

では、なぜ気持ちよさを感じた脳は更なる効果を生み出すのでしょうか。実は、脳は肌や体を制御する「自律神経」「ホルモン」「免疫」「代謝」という4つの仕組みを一手に司り、体内の様々な器官を総合的にコントロールし生命を維持する重要な役目を果たしているからです。

脳が気持ちよさを感じると、その気持ちよさが4つの仕組みを伝わって全身に行き渡り、肌や体の調子も良くなる仕組みがあるのです。そして、肌や体の調子が良い・悪いと判断しているのもまた脳なのです。

このように、脳を中心とした「気持ちよさ」のもつ効果効能が全身を駆け巡ることで、人（実は脳）は新たに美しく健やかになっていく喜びを感じ、それが新たな意欲（脳の活性化）につながっていきます。

ところが、約8割の現代女性の人間関係を含めた生活・職場環境は女性の神経にさわる状況（ストレス）にあり、女性の脳の働きに悪影響を及ぼし脳は疲労困ぱい状態にあります。そのことが、自律神経など、脳・神経機能のバランスだけではなく、新陳代謝のバランスを崩し、皮膚・内臓・骨や筋肉などの組織の再生回復能力を低下させているのです。

Physical Stimulus for Brain Activation

施術の世界における「脳科学の世界での一般論」の展開

BAP (Brain Activation Program) : 皮脂の出る皮膚作り+心地よさ

脳科学者と同じようにプロの施術者も「こうすると・こういう刺激」を肌表面に与えると、脳は気持ちよさを感じ、気持ちよさを感じた脳は更なる効果を生み出すということをよく知っています。

施術による物理的刺激は、肌表面に散在している感覚受容器（感覚点）によって感じ取られます。そして、感覚受容器は感じた刺激を電気信号に変えて知覚神経→脊髄神経節→中枢である間脳視床下部（自律神経系や内分泌系の中樞。全身からの臭覚以外の全ての感覚を大脳へ伝える中継点）→大脳皮質に作用し、高ぶった脳や神経機能を静め、内分泌系、特に脳下垂体、副腎皮質系を活発にします。

肌表面の触圧感覚（部位への直接的な刺激）により、皮脂腺もまた刺激されて活動が活発になります。皮脂の分泌が促され、なめらかさを増します。

また、真皮乳頭内の毛細血管が拡張され、血液循環がよくなることにより、肌へ十分な栄養が補給されます。肌への血流バランスを適正にするため、ほてった肌を適度に抑制作用するという作用もあります。血流のバランスを適正にする効果は、皮脂分泌が過剰気味の人の場合は、過剰な皮脂の産生を押さええます。

Phytoncide Stimulus for Brain Activation

海の森の世界における「脳科学の世界での一般論」の展開

BAP (Brain Activation Program) : 皮脂の出る皮膚作り+心地よさ

脳科学者・プロの施術者と同じように森林浴効果をよく知るフィトンチッド研究者も「こうすると・こういう刺激」を肌表面に与えると、脳は気持ちよさを感じ、気持ちよさを感じた脳は更なる効果を生み出すということをよく知っています。

フィトンチッド成分・海の母液成分・精製水からなる水溶液「海の森」に含有された精油による物理的的刺激は、肌表面に散在している感覚受容器（感覚点）によって感じ取られます。そして、感覚受容器は感じた刺激を電気信号に変えて知覚神経→脊髄神経節→中枢である間脳視床下部（自律神経系や内分泌系の中枢。全身からの臭覚以外の全ての感覚を大脳へ伝える中継点）→大脳皮質に作用し、高ぶった脳や神経機能を静め、内分泌系、特に脳下垂体、副腎皮質系を活発にします。

肌表面の触圧感覚（部位への直接的な刺激）により、皮脂腺もまた刺激されて活動が活発になります。皮脂の分泌が促され、なめらかさを増します。

また、真皮乳頭内の毛細血管が拡張され、血液循環がよくなることにより、肌へ十分な栄養が補給されます。肌への血流バランスを適正にするため、ほてった肌を適度に抑制作用するという作用もあります。血流のバランスを適正にする効果は、皮脂分泌が過剰気味の人の場合は、過剰な皮脂の産生を押さええます。